

広報 いずみの

KOUHO
IZUMINO

平成22年創刊

寒い日が続きますが、皆さんはどのような過ごし方でしょうか？
今回は、排泄支援の取り組みや、いずみで行われている行事を紹介いたします！

排せつ支援の取り組み①

排せつ支援加算とは、排せつに何らかの介助を要する利用者さんに対して多職種が共同して支援計画を作成し、利用者さんの排せつ状態の症状の改善を目指して支援する過程を評価する取り組みになります。

加齢とともに排せつ機能にも衰えがみられるようになり、多くの高齢者が、失禁や頻尿など、排せつに関わる悩みを抱えています。「排せつ」の問題はともデリケートなため、介助する側、される側の双方にとって体的、精神的な負担が大きくなることが少なくありません。

この取り組みの狙いは、利用者さんの排せつ機能や動作の向上にあります。そうすることで排せつにかかる要介護状態が軽減され、排せつ状態が改善することで、ご家族をはじめとする介助者にとっても、排せつ障害に悩む利用者さんにとってもより快適な生活の実現を目指すものとなります。

次号では、具体的な支援方法や内容をお伝えしていきます。

入所棟レク行事

外食レクに 行ってきました！



昨年に引き続き、バリアフリーレストラン『楽食』へ外食に出掛けてきました。『楽食』では普通食だけでなく、きざみ食やミキサー食、水分にとろみの必要な方へも対応してもらえるため、食形態の都合でなかなか外食出来ない方も出掛ける事が出来ました。スタッフも一緒に食卓を囲み、楽しい時間と美味しい食事を堪能して来ました。来年以降も外食の取り組みを続けていきたいと考えています。



普通食(上) と 嚥下食(下)



クリスマス会

十二月十二日、クリスマス会がありました。マジックショーなど賑やかに行われました。



いずみのファーム



今年度は気候の影響もあり、いずみのファームのサツマイモは不作でした。来年度はたくさん収穫出来ると良いですね。



ひと縫いの会

在宅生活を送りながら、リハビリの一環で雑巾を縫っている「一縫いの会」代表の古平守子さんが十一月十二日に泉田保育園へ縫い上がったたくさんさんの雑巾を贈られました。お礼に園児のみなさんが大きな声で歌を歌ってくれました。贈呈式のあと園児のみなさんとおやつを頂きながら交流しました。



手渡しているのが古平守子さん (右から2番目)

編集後記

新しい年を迎え、最初の発行となりました。今年もいずみの魅力をたくさん紹介していきますので、宜しくお願い致します。



ホームページもご覧下さい

老健いずみの

検索

介護療養型老人保健施設 いずみの
〒386-1106 上田市小泉72-1
TEL0268-26-6600 Fax0268-26-6615
通所リハビリテーションいずみの
TEL0268-26-6650
いずみの居宅介護支援事業所
TEL0268-26-6680
訪問看護ステーションやまびこ
TEL0268-26-6640
鹿教湯病院訪問リハ塩田出張所
TEL0268-26-6625